

2.教育・研究環境と 経済支援

#奨学金 #経済支援



経済面についての調査では、学部卒業生と
学府修了生の間で満足度に差が見られました。
外部の経済支援制度への
アクセシビリティ等についての情報共有が
十分でないことが原因であると推測されます。
ニュースレター内では、新入生・在校生が
利用できる経済支援制度を一部紹介すると
ともに、部局横断的な経済支援制度の
データベース構築を提案しています。

3.学びやすさという環境 —合理的配慮の側面から—

#合理的配慮

ステークホルダー調査内に設けられた
「障害者支援・合理的配慮」の設問に
対する結果から、学内での合理的配慮に
関する認知度の低さが窺えました。
ニュースレターでは、制度の周知を目的と
して、制度の説明や、合理的配慮申請の窓口
であるインクルージョン支援推進室の先生方
へのインタビュー等を掲載しています。

（付録情報として、相談フォームや
連絡先も。）



令和6年度 九州大学ステークホルダー調査 卒業生・修了生調査

データから見る九大



ニュースレター概要

PRESENTED BY
九州大学ステークホルダー調査 学生班



KYUSHU
UNIVERSITY

未来人材育成機構「九州大学ステークホルダー調査（KU-SHS）」学生班は、未来人材育成機構長（総長）の委嘱を受けて、同調査の分析・報告・広報を担当しています。この「三角柱POP」は、大学が公表する「調査報告書」の内容に基づき、学生班の視点から考えを発信する「ニュースレター」のダイジェスト版として作成しています。



1.伊都キャンパス 交通問題

#バス通学 #通学手段

調査の中で悩みを抱えている人の割合が目立ったのが、通学です。運賃の上昇や減便の要因は、慢性的なバスの運転手不足です。大学や行政も予算面から補助が難しいとしています。

この交通問題に対してニュースレターでは、
①連結バスの導入によるバスの機能向上
②バス以外のモビリティの充実
③学生街の整備によるバス依存の脱却
を挙げました。



もっと読みたい？

令和6年度ニュースレター
（日本語版）全文



九州大学
未来人材育成機構HP
ステークホルダー調査

お問い合わせ：
innovation@ueii.kyushu-u.ac.jp

